

新規事業採択時評価結果（平成18年度 新規事業化箇所）

事業の概要

事業名	都市計画道路 愛宕通線（岡富橋）	事業区分	街路事業	事業主体	宮崎県
起終点	自：宮崎県延岡市古川町 至：宮崎県延岡市野地町	延長	0.25km		
事業概要	愛宕通線は、延岡市別府町を起点とし延岡市古川町に至る延長約4.7kmの都市計画道路であり、延岡西環状線の一部区間を構成している。今回事業区間の愛宕通線（岡富橋）は、延岡西環状線の内、国道218号と地域高規格道路延岡インター線とを結ぶ五ヶ瀬川部の新設橋梁である。				
事業の目的、必要性	延岡西環状線の一部として整備することにより、延岡市街地に流入する通過交通を分散させ、交通渋滞の緩和や安全で快適な交通環境の確保を図る。 また、延岡市中心部から、国道218号、延岡インター線を経由し、平成17年4月に供用を開始した国道10号延岡道路へのアクセスの強化や岡富古川土地区画整理事業の面的整備とも連携した快適でゆとりある都市環境の整備が図られる。				
全体事業費	25億円	計画交通量	17,600台/日		
事業概要図					

**関係する地方公共団体等の意見**  
 延岡市は、「第4次延岡市総合計画」で延岡西環状線（愛宕通線）を渋滞緩和や国道10号延岡道路へのアクセス強化の面から、本区間整備の早急な整備強く望んでいる。また、延岡市都市計画マスタープランにおいても主要幹線道路として位置づけ、原則として優先的に整備促進を図ることとしている。

**事業採択の前提条件**  
 費用対便益： 便益が費用を上回っている。  
 手続きの完了： 都市計画決定の変更(平成16年4月)が行われており、円滑な事業執行の環境が整っている。

事業評価結果

担当課：宮崎県 都市計画課

担当課長名：

費用対便益	B/C	4.2	総費用：21億円 事業費：20.9億円 維持管理費：0.1億円	総便益：89億円 走行時間短縮便益：85.0億円 走行費用減少便益：2.0億円 交通事故減少便益：2.0億円	基準年 平成18年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= (交通量 %)	B/C= (交通量 %)	
		事業費変動	B/C= (事業費 %)	B/C= (事業費 %)	
		事業期間変動	B/C= (事業期間 年)	B/C= (事業期間 年)	
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	◎	延岡市街地の渋滞緩和を図る。（国道10号、県道稲葉崎平原線等） 【渋滞損失時間の改善】整備前：35.5(万人時/年) → 整備後：2.5(万人時/年) 【1kmあたり渋滞損失時間】 国道10号；約6.0(万人間/km) (現況) 県道稲葉崎平原線；約5.3(万人間/km) (現況) 【渋滞度曲線】 国道10号；県内上位33位、10%以内 (現況) 県道稲葉崎平原線；県内上位40位、10%以内 (現況) ※1kmあたり渋滞損失時間全国値H16 2.0(万人間/km)	
		事故対策	◎	交通事故多発区間の事故の減少が見込まれる。（国道10号、県道稲葉崎平原線等） 【死傷事故率】 国道10号；約143(件/億台年) (死傷事故率比(県内平均比)2.42、県内上位44位 10%以内) 県道稲葉崎平原線；約257(件/億台年) (死傷事故率比(県内平均比)4.37、県内上位12位 5%以内) ※死傷事故率全国値H16 120(件/億台年)	
		歩行空間	○	歩行者の安全性向上；橋梁新設により通勤・通学の距離が短縮され、安全が確保される（延岡高校、延岡商業高校等への通学路）	
	社会全体への影響	住民生活	○	延岡市役所、県立延岡病院合、西階運動公園等の公共施設へのアクセス向上により、利便性が向上する。	
		地域経済	○	延岡市中心部から広域交通拠点の国道10号延岡道路延岡IC・JCTへのアクセスが向上する。	
		災害	○	緊急輸送道路の県道稲葉崎平原線の代替路線となり、緊急時の輸送性が向上する。	
		環境	○	CO2排出量削減：約1,715t/年 (30%削減) Nox削減量：約6.62t/年 (35%削減)、SPM削減量：約0.59t/年 (33%削減)	
	地域社会	○	合併前の旧北方町、北浦町中心部と延岡市中心部と直結する道路であり、日常活動生活圏へのアクセスが向上する。		
事業実施環境	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>延岡西環状線の整備を県街路事業（須崎中川原通線外2線）、市街路事業（須崎中川原通線）、区画整理事業（岡富古川地区）と連携し、整備を進めている。</li> <li>延岡西環状線は、高規格幹線道路である延岡道路の延岡IC・JCTへのアクセス道路となるため、高速交通体系の確保が図られる。</li> </ul>			

採択の理由

本事業は、費用対便益が4.2と便益が上回っていることから、事業採択の前提条件は確認できる。この街路整備は、延岡市街地の渋滞緩和や延岡市中心部から交通拠点である国道10号延岡道路へのアクセス道路として整備を行うものであり、区画整理事業との連携により快適でゆとりある都市環境整備も図られ、事業効果は高いと判断される。以上により、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

